

様式(細則 6-2)

令和 7 年 3 月 24 日

浜田市議会議長 様

議員名 沖 田 真 治

研 修 受 講 報 告 書

下記のとおり研修を受講したので報告します。

記

1. 研修名

地域づくりオールスター祭

2. 受講の目的（市政との関連など）

他の自治体における地縁組織等が行う地域づくり活動の参考とする

3. 期間（移動日を含む）

令和 7 年 3 月 15 日（土）

4. 経費 4,267 円

参加登録料 1,000 円、ガソリン代 17.10 3,267 円
（経費内訳 登録料 1,000 円、旅費 3,267 円）

5. 研修のポイント・議員活動や市政への反映など

- ① 地域づくりにおける人材育成
- ② 地域づくりにおける組織体制
- ③ 地域づくり、地縁組織への支援の在り方

6. 研修内容

（詳細は別紙のとおり）



【研修概要】

1. 講演会 「地域づくりはモチベーションづくり」

講 師 一般社団法人おくいずもくん 代表理事 落合孝行 氏

- ・ 地域づくりを行う奥出雲町三沢地区。若者からベテランまでが一体となり地域を盛り上げている。最近では地域外からも関わるメンバーが増加傾向にある。
- ・ 人口約 600 人の小さな集落。少子高齢化に伴い地域活動は停滞し地域から活気がなくなる状況下にあった。従来通りの町内会、地縁組織による地域活動維持は限界を迎えていた。
- ・ 従来通りの地縁組織はモチベーションが義務的なものであることに地域活動が衰退する要因の一つとなっていると判断し組織体制を見直した。
- ・ 地域活動に主体性が生まれ義務的な関りから楽しんで参画する住民が増え始めた。ふるさと定住財団が運営する「しまっち」を通じて他地域からイベント等への参加が増え始めた。
- ・ 関係人口が増えてきたことにより、新たな刺激を受け地域づくりの大きな推進力となっている。

2. 分科会 地域に人を呼び込む仕掛けづくり ～官民連携の地域づくり～

- ・ 官民一体となった取組が注目されている江津市波子町では、企業版ふるさと納税で江津市役所に入職した福山氏と一緒に、まちづくり活動を行っている。
- ・ 波子町においても義務的な組織体制、自治会、町内会とは別に事業部会を 10 年前に立ち上げ地域課題を主体的に行っている。
- ・ 活動財源を捻出するため空き家を活用し「民泊」の運営を行っている。波子町全体での利用者は多い。主な利用者はアクアスに来る研修生となっている。

以上

【所感】

今回の研修で思ったことは、義務的な地縁組織の限界と補助金の使い方であった。

今回、県内、県外からも多くの地域活動を行う人たちが集まったイベントであった。当然のことながら義務的に訪れた人は居ない。自らの意思で地域に関わる人たちなので話す内容も建設的な内容が多く前向きな事例も多くあった。多くの自治体で関係人口の増加に向け政策を行っているが、基となる地域に活力がなければ人は関わって来ない。と言う単純なことが抜け落ちているように思うことが多い。その大きな要因は、不足しているのは補助金ではなく人であると強く思った。

現在、浜田市において「まちづくり総合交付金」を交付し地域づくりの推進を図っているが、従来通りの方法には限界がきている。地域活性化を図る、地域課題を解決するのは人であり組織が無理なく活動できる仕組みであることを提言したいと思った次第である。

視察の状況写真

